

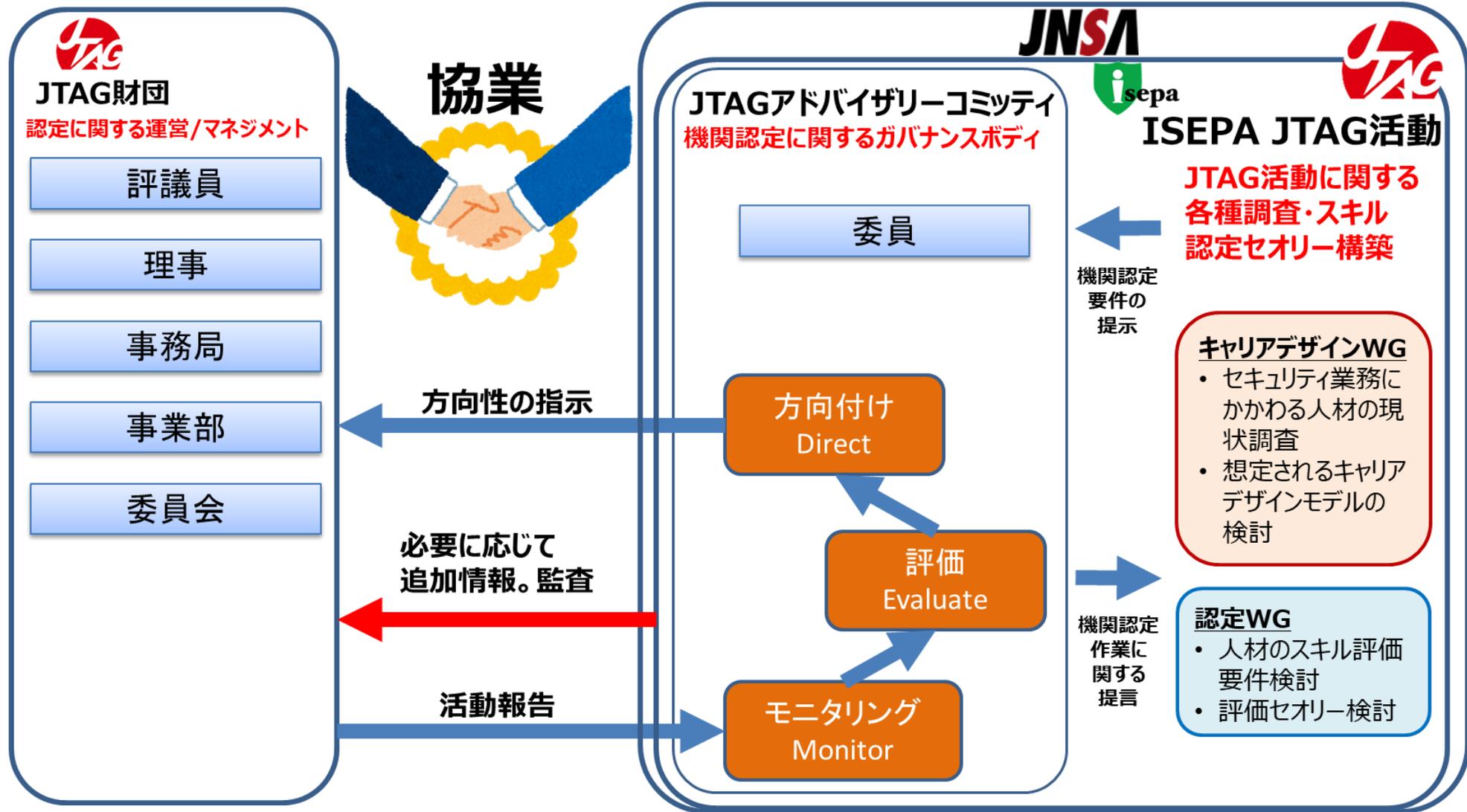
JTAG ワーキンググループ



活動報告会

2024/7/18

WG と 法人(JTAG財団)の関係



JNSAからJTAG事業分野の分離



- JNSAでセキュリティ人材のスキル見える化の考え方がほぼ完成形となり、個人のスキル認定などを具体化を推進。
- 個人のスキル認定や、人材流動化サービスは、事業色が強いため、NPOではなく別団体で活動。
 - 事業内容
 - ✓ スキル診断
 - ✓ コンピテンシー診断
 - ✓ タレントマネジメントサービス など
- 認定や人材サービス事業は新財団を立ち上げ、JNSAからは独立した事業として運営。
- JNSAでは可視化のセオリー検討まで行い、JTAGを活用したサービス事業を機関認定することとし、そのためのアドバイザーコミッティをJNSA内部に組織。

**長期的な視野でセキュリティ人材・セキュリティの
業務に関わる方々のよりよいキャリア形成を目指す！**

ワーキンググループ活動実績



タイトル	掲載日
学生のキャリア意識調査レポート	2023/2/16
JTAG認定ワーキンググループ金融版検討 概要版（トライアル結果）	2022/11/2
セキュリティ業務職種のキャリア展望について	2021/5/20
セキュリティ業務を担う人材のスキル可視化における概念検証報告書 ～トライアル結果の考察～	2019/11/25
セキュリティ業務を担う人材のスキル可視化施策の考察 ～プラス・セキュリティ人材の可視化に向けて～ <1.0版>	2019/10/30
キャリアパスグランドデザインの考察_ver1.0	2019/10/7
セキュリティ業務を担う人材の現状調査報告書 (2018年下期調査)	2019/6/19
セキュリティ業務を担う人材のスキル可視化ガイドライン ～ プラス・セキュリティ人材の可視化に向けて ～ <β版>	2019/1/18
セキュリティ業務を担う人材の現状調査報告書 (2018年上期調査)	2018/11/2

2023年活動 アンケート調査

2023年調査テーマ

学生視点のキャリア調査 2

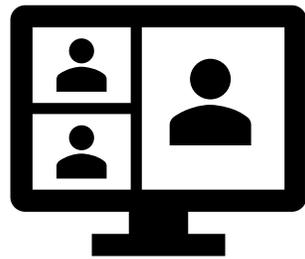
アンケート・インタビュー調査



500名超

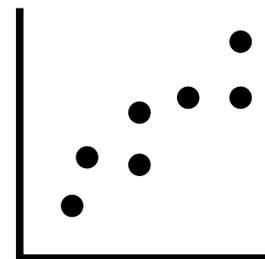
2023年のアンケート収集数

調査結果の分析



WG活動

パーソナリティ特性

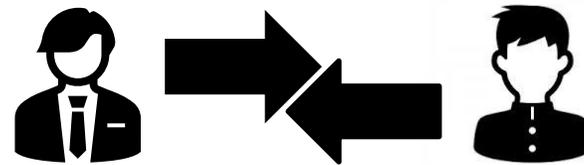
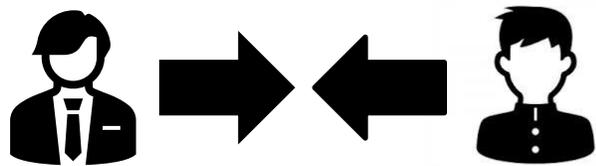


TIPI-J

Ten Item Personality Inventory

調査の背景

学生が産業界、特にセキュリティ業界に期待することを調査することで、産業界が求める要素と学生が期待することのギャップ調査を行う。産業界と学生の目線を合わせることで、学生の流入を促すきっかけを作る。



産業界が考える
就職やキャリア

学生が考える
就職やキャリア



アンケート調査

時期：8～12月末

時間：10分程度

方法：Formsへの入力

対象者：以下要件に合う学生

- ・セキュリティを中心に学んでいる学生

アンケート内容：以下質問カテゴリ約50問

- (ア)対象者のプロフィール情報
- (イ)就職・仕事に関する質問
- (ウ)セキュリティの仕事に関する質問
- (エ)セキュリティキャリアについての質問
- (オ) Ten Item Personality Inventory

■質問内容

パーソナルに関する質問
学校区分を選択してください。
学年を選択してください。
年齢を選択してください。
就職・働き方に関する質問
学校卒業後につきたい仕事・職種は決まっていますか？ ↓ ※内定がすでに出ている場合には、就職活動前を思い起こし回答してください。
就職活動をする上で重要視していること、していたことは何ですか？
リモートワークという働き方について、「人間関係の構築がしづらい」という不安はありますか？
リモートワークという働き方について、「相談がしづらい」という不安はありますか？
リモートワークという働き方について、「OJTで学びづらい」という不安はありますか？
リモートワークという働き方について、「勤務とプライベートの区別がしづらい」という不安はありますか？

取得した質問内容の一部

分析（本書）

分析時期：2023年12月～2024年1月
対象：アンケートの有効回答を抽出し実施

主な分析の切り口

- (ア)学年
- (イ)学校区分

主な分析手法

- (ア)クロス集計
- (イ)WG内ディスカッションによる考察

分析（今後の予定）

分析時期：2月～
対象：アンケートの有効回答を抽出し実施

主な分析の切り口

- (ア)パーソナリー属性

主な分析手法

- (ア)クロス集計
- (イ)BIG5分析
- (ウ)WG内ディスカッションによる考察

今後の予定では、本アンケート調査の結果を企業の人事担当者にもヒヤリングを行い、考察に反映する予定

最近の学生の特徴

オンラインと対面の授業を併用。
オンラインでのコミュニケーションが
日常に存在する。

インターンシップも出社等はせずに
在宅ワークで実施



新入社員からでも高い給与の可能性
反面、給与だけではなく企業のビジョンに
共感して仕事を選ぶ。

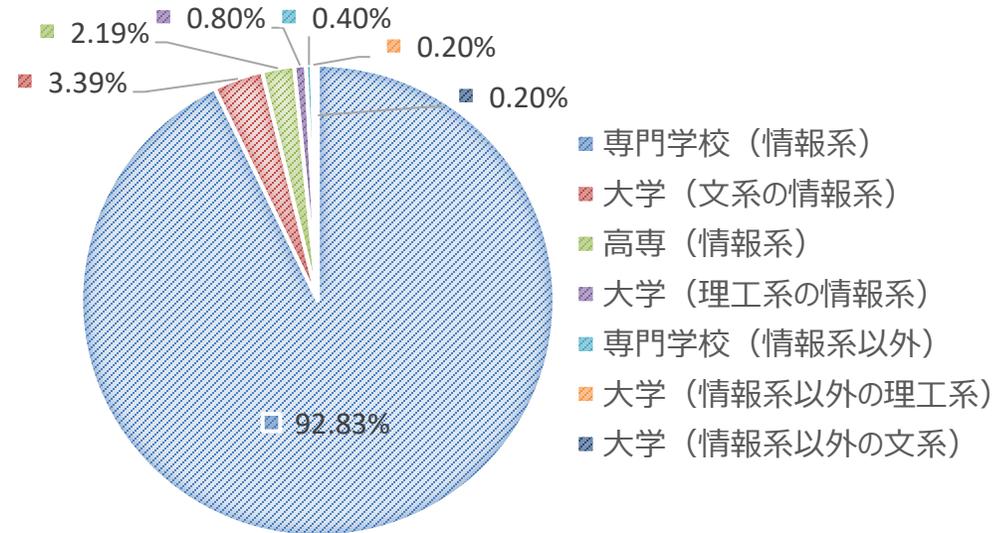
ITがあることは前提
ITを使って何をするかが就職のポイント

回答者属性

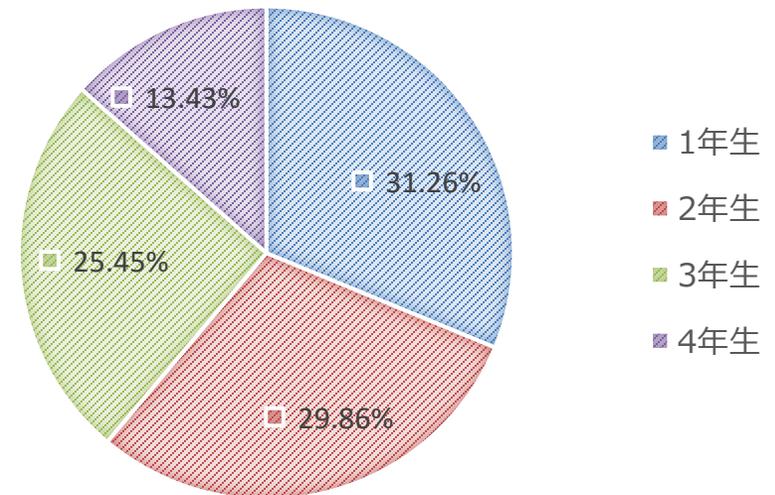
収集したデータと有効データ数（成型後）

アンケート収集数	有効データ数	有効率
502人	502人	100%

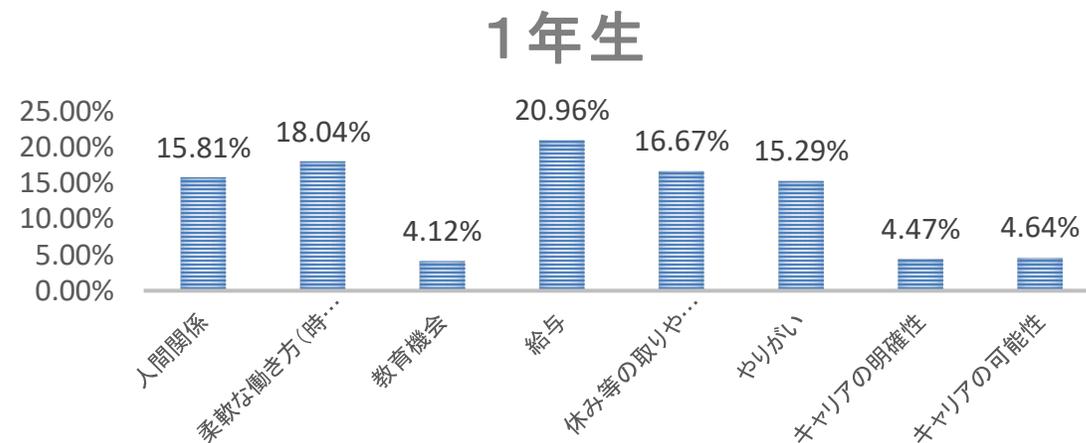
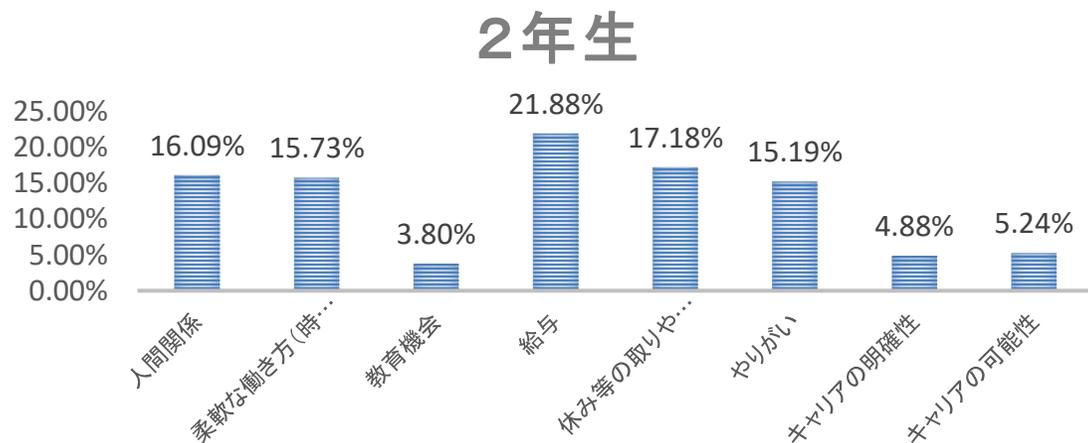
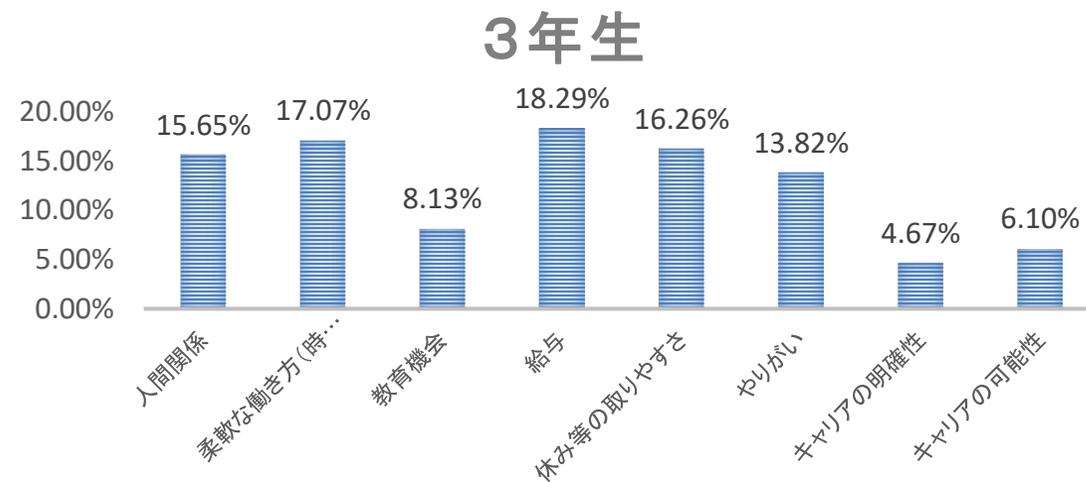
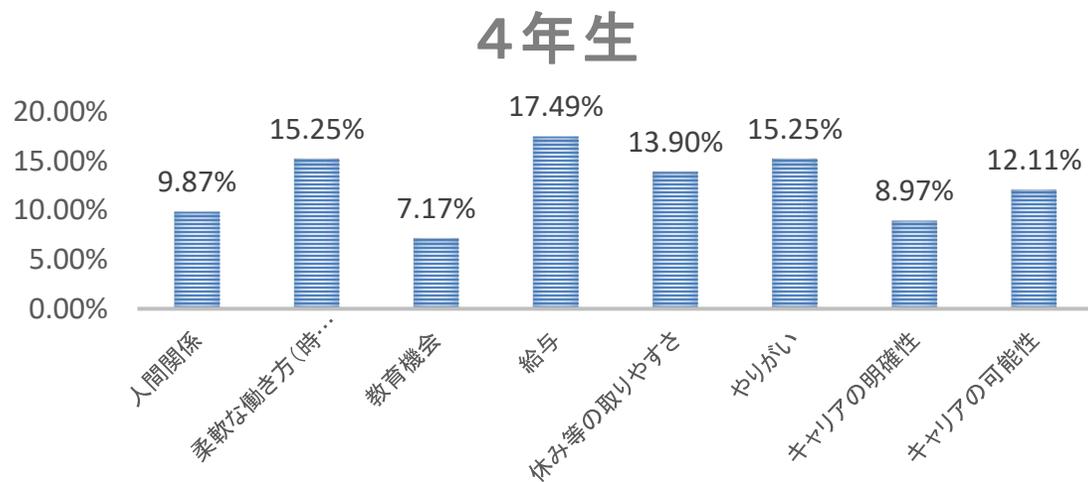
学校区分（単位：％）



学年（単位：％）



就職活動をする上で重要視していること、していたこと



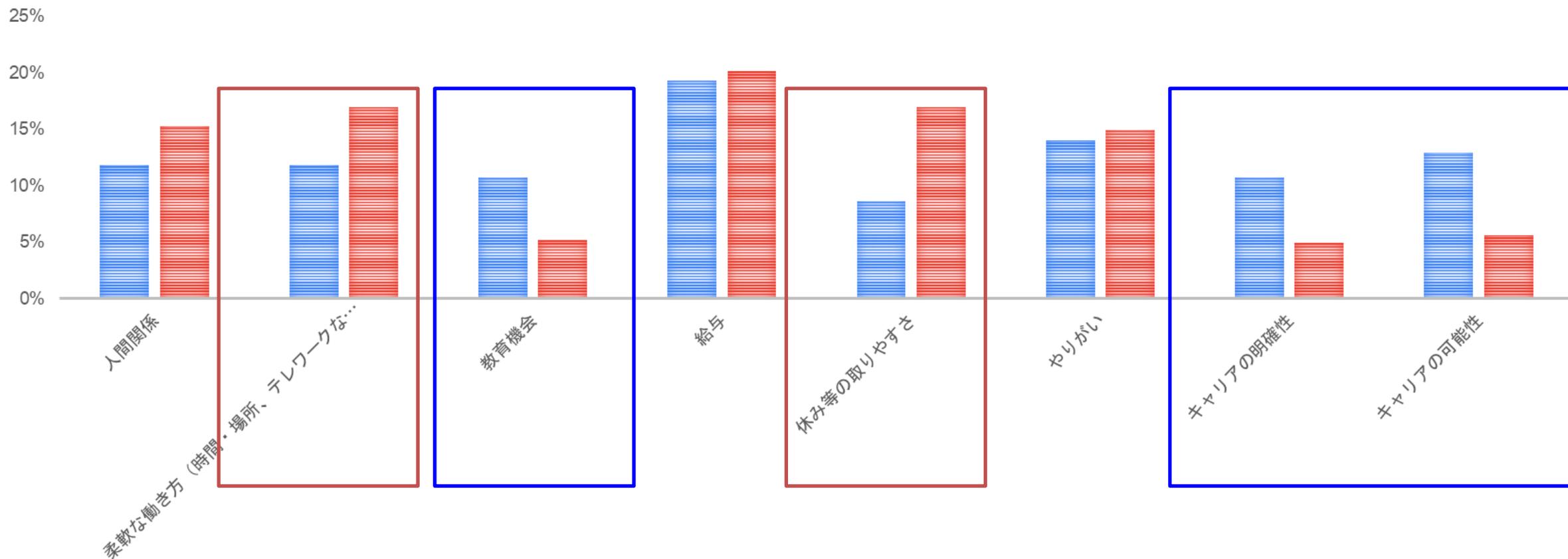
給与、柔軟な働き方、やりがい、人間関係、休み等の取りやすさがどの学年でも高い。2022年度調査でも同じ結果が出ており、『働く』ことを意識した回答になっていることが伺える。

就職活動をする上で重要視していること、していたこと



大学生と専門学校生の違い

■ 大学 ■ 専門学校



大学生と専門学校生の違いを比較した。専門学校生は、働き方に関する項目を重要視している傾向が高く、大学生はキャリアや育成を重視していることがわかる。

就職活動をする上で重要視していること、していたこと



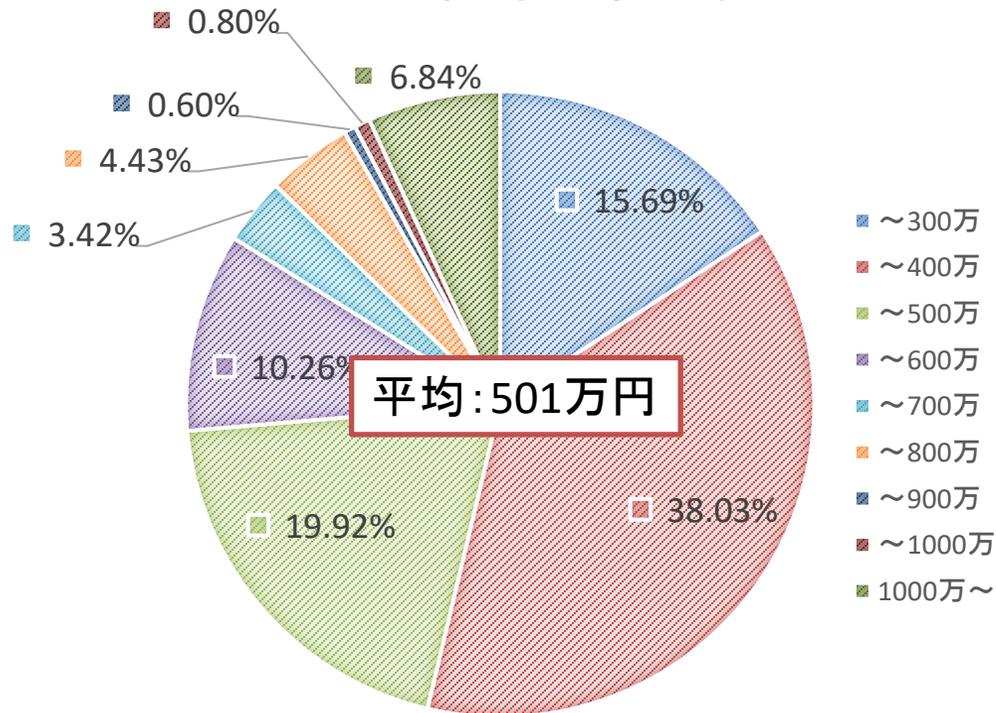
大学生と専門学校生の違い（3，4年生）



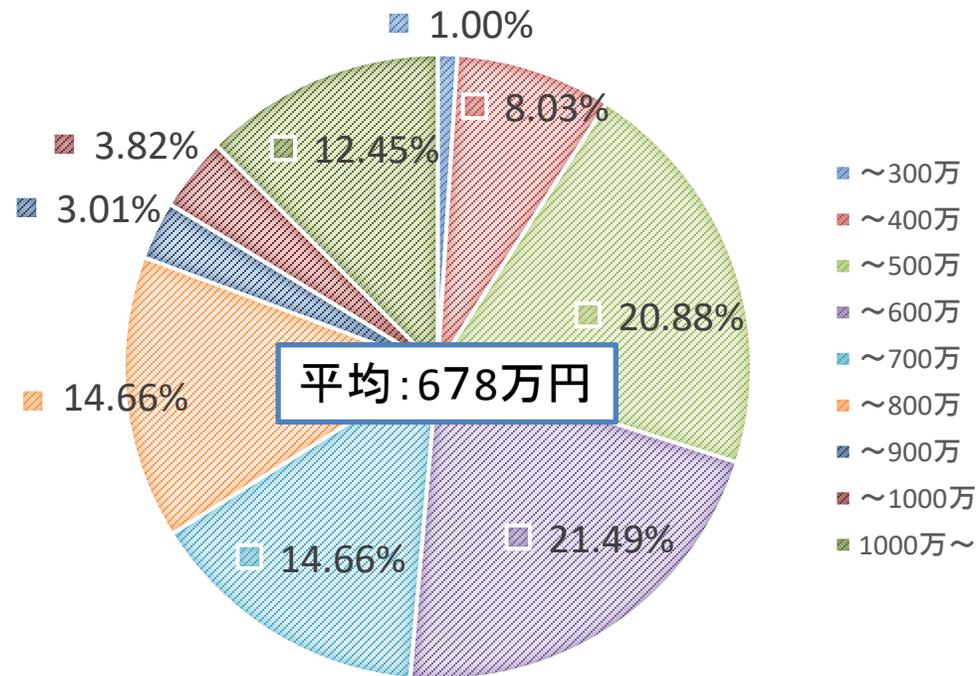
就職をより意識する3・4年生では、キャリアの意識などは大学が3年生から高い数値となっているのに対して、専門学校では4年生からとなっていた。キャリア教育の開始時期や就職活動なども影響していると想定される。

求める年収

入社時の希望年収



30歳時の希望年収



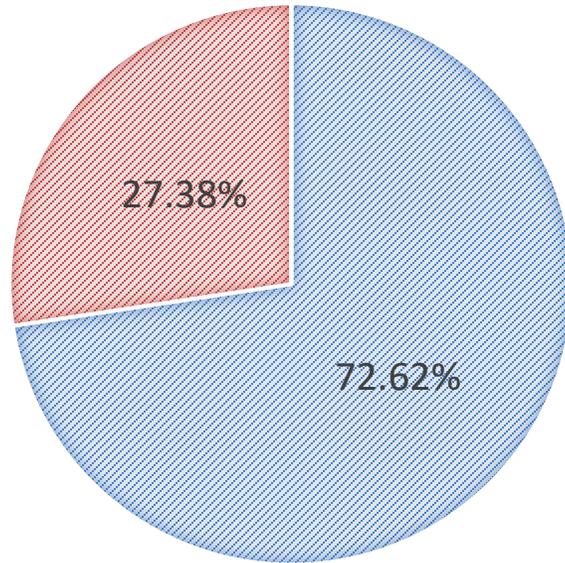
1年を通じて勤務した給与所得者の1人当たりの平均給与は461万円(国税庁)

新卒時の希望年収は400万が一番多く、比較的現実的な考えが多い。しかし30歳時の希望年収では、500万~800万円が分散した結果となった。平均年収以上を求める意識も働いていると考えられる。

セキュリティ関係の仕事に就きたいか



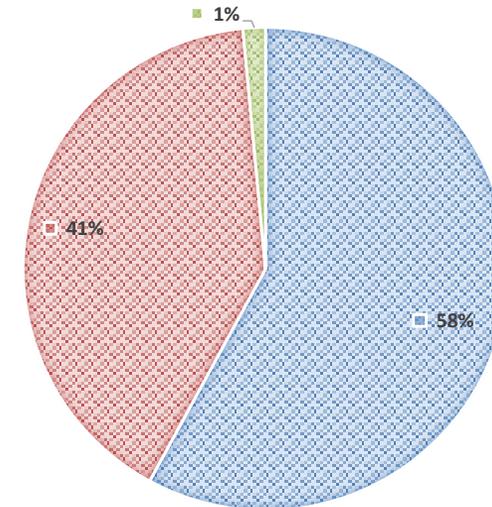
セキュリティ関係の仕事への就業希望



- 就きたい(セキュリティ関係の仕事をする企業へ就職予定)
- 就きたくない

2022年の調査結果

セキュリティ 関係の仕事に就きたいですか？



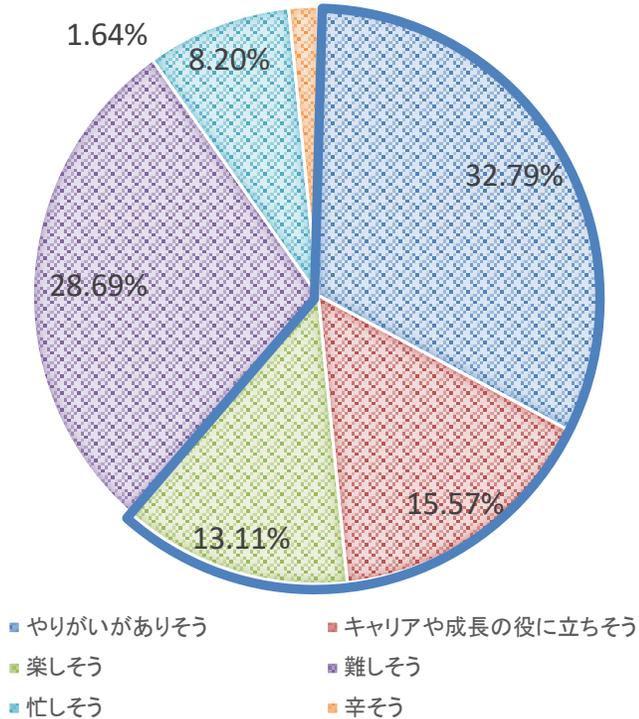
- 就きたい(セキュリティ関係の仕事をする企業へ就職予定)
- 就きたくない
- 未回答

2022年調査時は、セキュリティの仕事に就きたくないと回答した学生が40%を超えてあったが、2023年調査では25%程度となった。セキュリティを学んでいる学生ではあるが、セキュリティの仕事に就きたくないとする学生が一定数はいることになる。

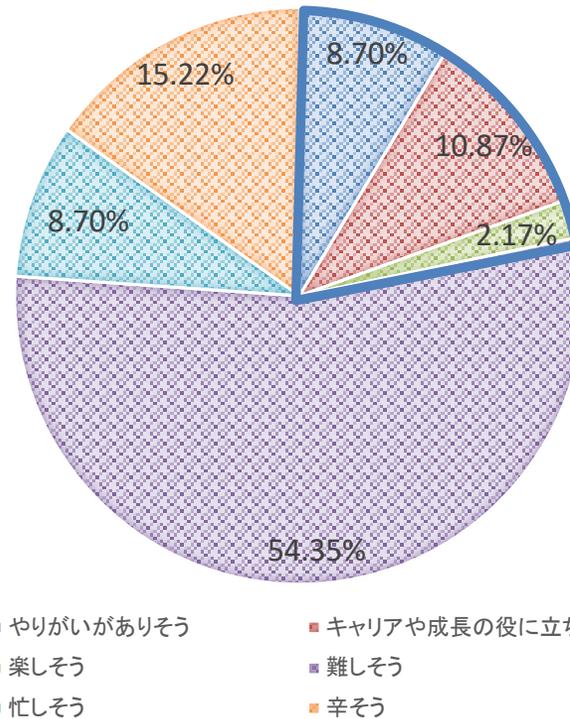
セキュリティ関係の仕事に就きたいか



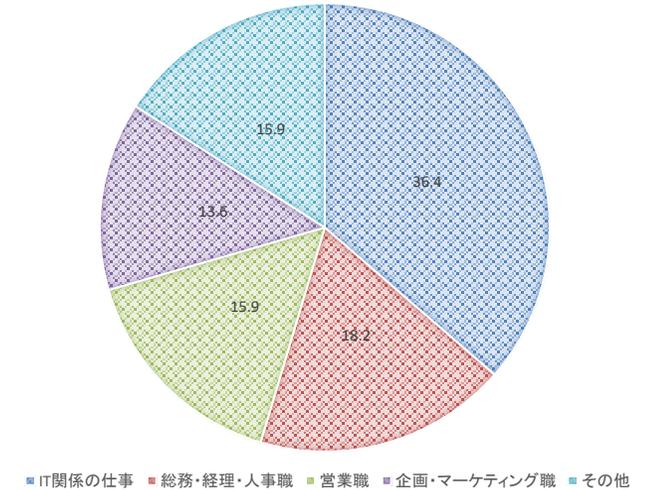
就きたい
(セキュリティ関係の仕事をする企業へ就職予定)



就きたくない



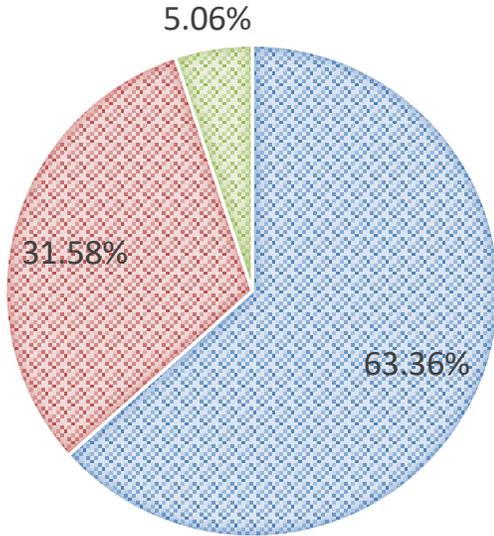
現在の学校(学科)へ進学していなければ、どんな仕事に進むと思いますか？
(セキュリティの仕事に就きたくない人の回答)



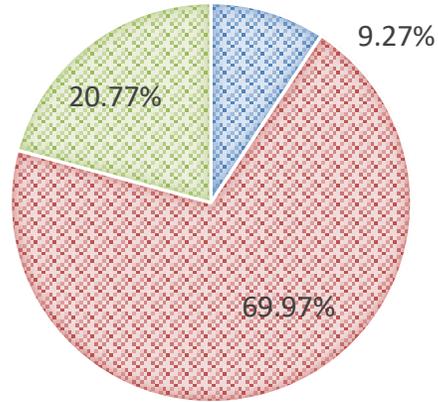
セキュリティの仕事に就きたい人と就きたくない人では、前向きな回答である、『やりがい』、『楽しそう』、『キャリアや成長の役に立ちそう』という回答が圧倒的に少ない傾向にある。特に就きたくないという学生はやりがいを感じづらく、難しそう、辛そうという意識が高いことがわかる。場合によっては、学校の勉強で難しさを感じているという可能性も考えられるが、セキュリティの仕事はやりがいがあると伝える機会を増やすことが大切である。

キャリアの築き方

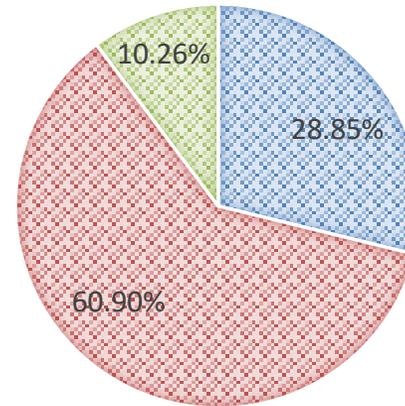
キャリアの築き方で近い考え方を教えてください。



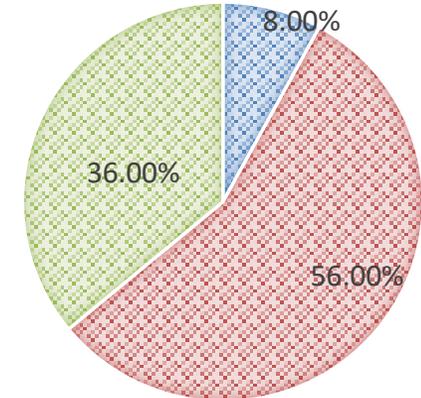
所属する会社にこだわらず(副業なども実施し)キャリアを築きたい



所属する会社内でキャリアを築きたい



組織に属さずキャリアを築きたい



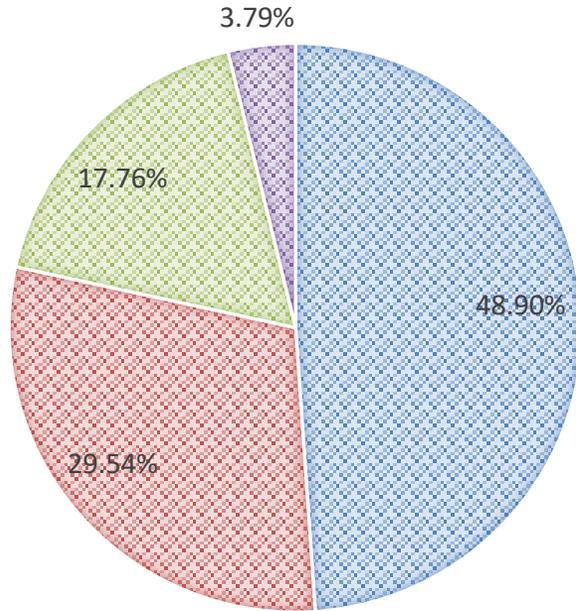
- 所属する会社にこだわらず(副業なども実施し)キャリアを築きたい
- 所属する会社内でキャリアを築きたい
- 組織に属さずキャリアを築きたい

- 転職は考えない(ひとつの会社で定年まで働く)
- より良いキャリア形成のためには転職も考えたい
- チャンスがあれば積極的に転職したい

最近の学生のキャリアの気づき方として、所属する会社にこだわらないキャリアの気づき方を考える人が過半数を超えている。3割の学生は所属する会社内でキャリアを気づきたいと考えている。しかし、そんな学生もより良いキャリアのためには転職を考えたいとしており、自身の望むキャリアが所属する会社で実現できるかが重要であると考えられる

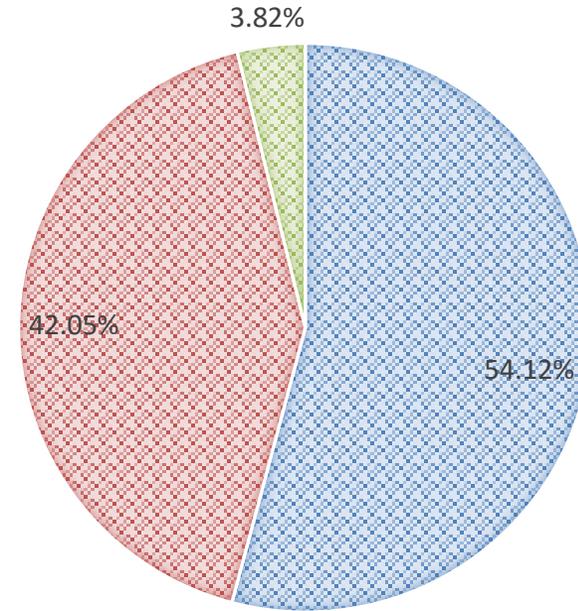
キャリアの築き方

自身の入社・就職後の
キャリア(仕事)の展望・展開



■ 自身で考えたい ■ 会社に任せる ■ わからない ■ 外部のサービス等を利用する

キャリアの可能性を会社から
提示してほしいですか？



■ 長期的に提示してほしい ■ 最初のうちは提示してほしい ■ 提示してほしくない

キャリアの築き方としては、自身で考えたいという意見が多い。会社からのキャリアの提示は長期・短期に関わらず、9割の人が提示して欲しいと回答している。会社からの提示はありつつも、それらを参考にしつつ、自分のキャリアを選択していきたい意向が伺える。

セキュリティ関係の仕事に就く人への期待



セキュリティ関係の仕事に就く人たちは今後どうなればよいと思いますか？	
高い年収を獲得する	79
DX/デジタル化推進の中心となる	51
セキュリティベンダーでなくても事業部門で売りに貢献する	16
なりたい職業ランキングに入る	13
勉強し続ける	1
自身の実力をもっと高める	1
セキュリティ関連の仕事でなくてもセキュリティの知識を持つべき	1
労働基準を見直す	1
正当に仕事を評価される（業績関係で蔑ろにされない）	1
セキュリティやITの人でない人から重要性を理解される	1
そのままが良い	1
経営者にとって価値が高いことが認められるようになる	1
わからない	1

白編みかけは選択回答、青編みかけはフリー記述回答

学生から見てセキュリティ関係の仕事に就く人への期待は、年収・DX / デジタル化推進の中心となるが多い。また、フリー記述の回答では、評価など世間的な地位向上を目指す意見も多く見られた。

BIG FIVE分析による考察

BIG FIVE分析とは



2024年5月追記

ビッグファイブ理論は、1990年代にルイス・R・ゴールドバーグという心理学者が提唱した、人間の性格を5つの基本的な因子で説明しようとする心理学の理論。

人の性格は「外向性」「協調性」「勤勉性」「神経症傾向」「開放性」の5つの因子から成り立つとされ、ビッグファイブ理論は、これらの5つの因子が個人の性格を幅広くカバーしていると考えている。

- 外 向 性** : 社交的、活発な人柄、自己主張の強さ、積極性、刺激を求める
- 調 和 性** : 協調性、協力的、同調的、思いやり、気遣いができる、親切心
- 勤 勉 性** : 勤勉さ、責任感、信頼されやすい人柄、裏表のなさ、約束を守る
- 神経質的傾向** : 気持ちの安定性、不安の感じにくさ、ストレスへの強さ、おおらかさ ※1
- 開 放 性** : 好奇心の強さ、知性、新しい情報への興味、芸術性、冒険心

※1 : 神経質的傾向が高い人はストレスの多い状況では精神・身体面で影響を受けやすい傾向がある

調査対象者の基本属性（BIG FIVE）



前回の調査と同傾向で協調性が高い、勤勉性はやや低い

2024年5月追記

	平均値	標準偏差	今回の調査対象者	先行研究1 20代（男性）	先行研究1 20代（女性）	先行研究2 (20代)	
外向性	3.34	1.40	外向性	3.34	3.81	4.15	3.61
協調性	5.08	1.16	協調性	5.08	4.65	4.97	4.68
勤勉性	3.08	1.27	勤勉性	3.08	3.49	3.57	3.83
神経症傾向	4.38	1.35	神経症傾向	4.38	3.98	4.33	4.4
開放性	4.07	1.29	開放性	4.07	4.05	3.85	3.79

調査対象者全体を5つの因子で分析した。

今回の調査対象者と先行研究の対象者を比較すると、**協調性が高く、勤勉性はやや低い**という結果となった。勤勉性がやや低いという結果は、勉強しないということではなく、計画性よりも直観に従うなどの傾向がみられる。

学生のキャリア展望とパーソナリティ



Q:自身の入社・就職後のキャリア(仕事)の展望・展開についてどのように考えますか？ 2024年5月追記

	自身で考えたい N=240	会社に任せる N=148	外部のサービス等 を利用する N=19	わからない N=84
外向性	3.53	3.17	2.87	3.24
協調性	5.14	5.05	5.00	4.96
勤勉性	3.15	2.99	2.82	3.08
神経症傾向	4.19	4.62	4.39	4.45
開放性	4.33	3.86	4.08	3.70

入社・就職後のキャリアについて、「会社に任せる」と回答した学生と比べると、「自分で考えたい」と回答した学生は、**開放性と外向性が高い。一方で神経症傾向は低い。**自律的なキャリアを志向する学生は、新しいことに対して、果敢に取り組み、未知なる環境を好む傾向がみられる。

セキュリティ分野に就職する 学生のキャリア展望とパーソナリティ



2024年5月追記

Q:現在、セキュリティ関係の仕事に就きたいですか？

Q:自身の入社・就職後のキャリア（仕事）の展望・展開についてどのように考えますか？

	就きたい※ N=121	就きたくない N=45
外向性	3.41	3.21
協調性	5.12	5.17
勤勉性	3.26	3.29
神経症傾向	4.17	4.54
開放性	4.23	3.94

※セキュリティ関係の仕事をする企業へ就職予定含む

	自身で考えたい N=59	会社に任せる N=36	外部のサービス等 を利用する N=8	わからない N=18
外向性	3.69	3.40	2.63	2.89
協調性	5.25	4.92	5.25	5.03
勤勉性	3.49	2.99	3.13	3.11
神経症傾向	4.02	4.33	4.00	4.39
開放性	4.51	3.92	4.25	3.92

※セキュリティ関係の仕事に就きたいと回答者した対象者（N=121）に限定

セキュリティ分野に就職する自律的なキャリアを志向する学生は、**勤勉性の因子が高く**、責任感があり勤勉であることが窺える。また、**開放性が高い**ことから、新しいことに対して果敢に取り組み、未知なる環境を好む傾向がある。

キャリアに関する会社からの提示



2024年5月追記

Q:キャリアの可能性を会社から提示してほしいですか？

	長期的に提示して欲しい N=264	最初は提示して欲しい N=206	提示して欲しくない N=17
外向性	3.38	3.28	3.79
協調性	5.16	5.03	4.56
勤勉性	3.04	3.09	3.00
神経症傾向	4.30	4.47	4.59
開放性	4.07	4.07	3.82

キャリアの可能性を会社から提示して欲しい意向について、長期的に提示して欲しいと回答した人は、協調性が高い傾向にある。反面、提示してほしくないと回答した人は、協調性・開放性が低い傾向となった。ただし、提示して欲しくないと回答した人数サンプルが少ないことから、継続した調査が必要となると考える。

セキュリティの授業をどのように進めれば良いのかわからない。



セキュリティと言っても多くの仕事があるが、細かく説明できず、キャリア教育などが不十分だと感じている。

講師業を専門にしていると、実際にセキュリティの現場で働いたことがあるわけがないのでやりがいなどを伝えることが難しい。

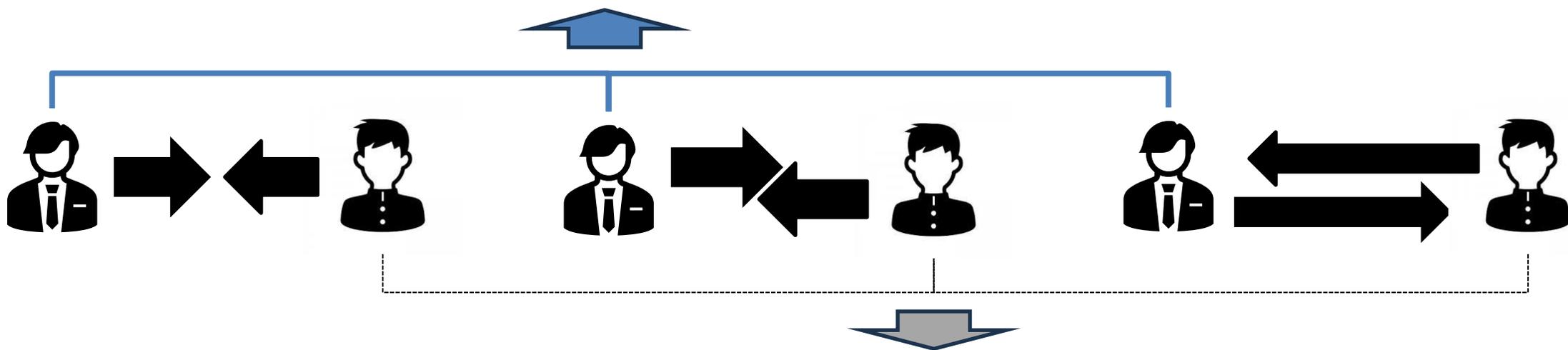


授業やコースを立ち上げたけれども、企業とのコネクションがなく就職において苦労している。

2024年の予定

企業の人事担当者が期待する学生とアンケート実態のギャップを把握していく

2024年の調査活動



2022年・2023年の調査活動

- ・人材のスキルに見える化についての検討
- ・見える化された人材の評価

見える化の指標について

能力診断

Capability Assessment for Digital Security

- SecBokやiCD、ITSSをベースに組み立て。
- 技術要素だけに偏ることなく「仕事、タスク」の観点から広範囲のスキルについて指標を置き、多岐に渡るセキュリティ関連業務に対してきめ細かく対応できるように指標化。

適性資質・行動特性診断

Competency Assessment

- 能力診断部分との相関分析により、より適材適所の参考情報の提供。

A: テクニカルスキル

テクノロジー
スキル

メソッド
スキル

関連知識

B: 各種資格

C: 研修・講義等受講履歴

D: タスク/業務実力 (業務経験)

E: コンピテンシー (ヒューマンスキル/コンセプチャルスキル)

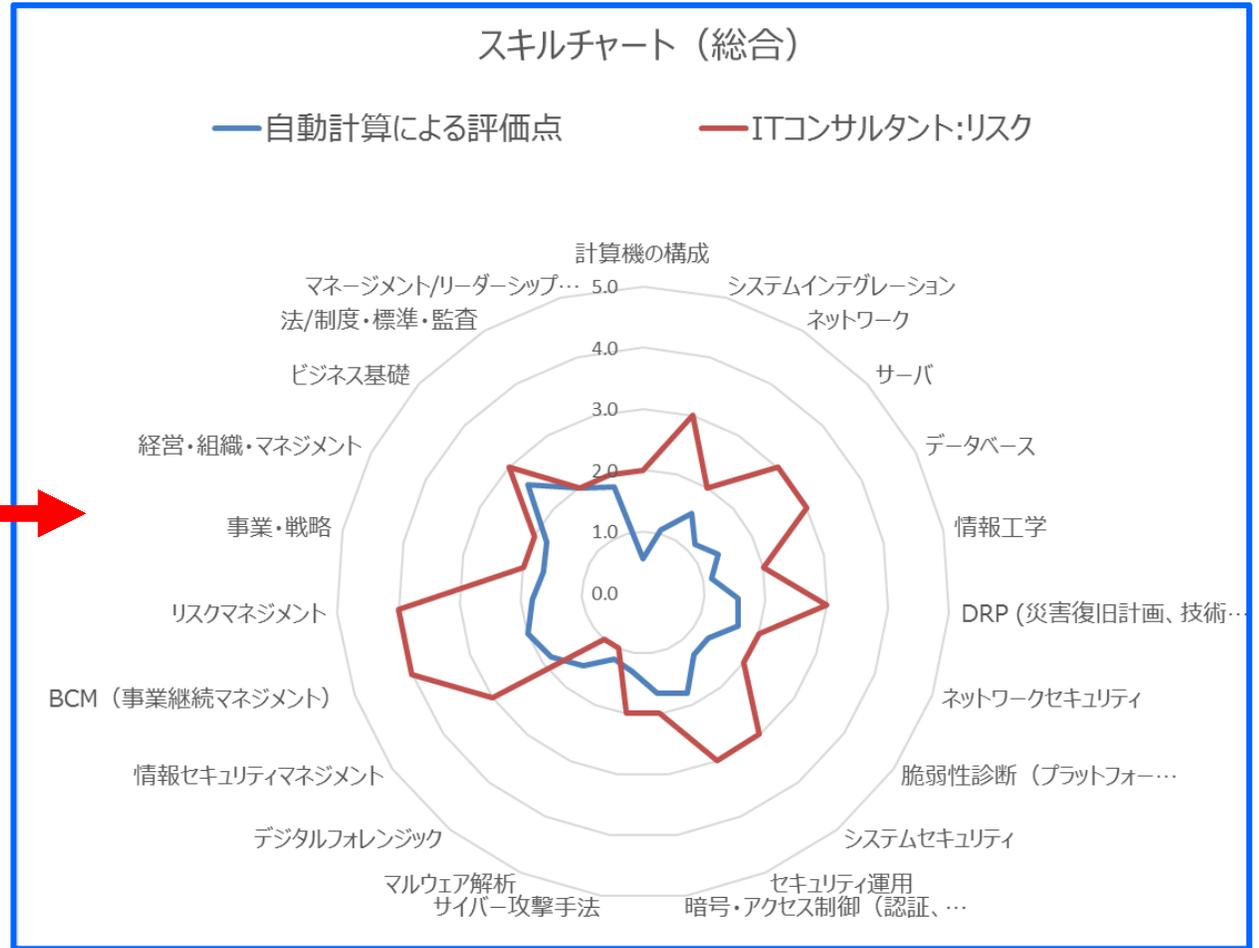
F: 人 (セキュリティに携わる上での、基本的な「人」としての信頼度)

評価要素と可視化イメージ



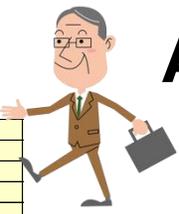
能力診断

Capability Assessment for Digital Security



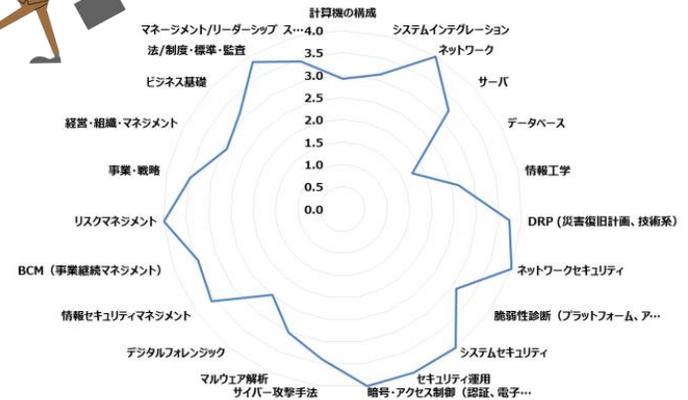
JTAGの可視化とは？

- 初段/中級とか、Aランク/Bランクという、絶対評価をするものではない。
- 指標項目に対して「どのようなレベル状態にあるのか」「どのようなスキルバランスなのか」を確認するもの。



Aさん

計算機の構成	2.9
システムインテグレーション	3.1
ネットワーク	4.0
サーバ	3.2
データベース	1.8
情報工学	2.6
DRP (災害復旧計画、技術系)	3.7
ネットワークセキュリティ	4.0
脆弱性診断 (プラットフォーム、アプリ等共通)	3.1
システムセキュリティ	4.0
セキュリティ運用	4.0
暗号・アクセス制御 (認証、電子署名等)	4.0
サイバー攻撃手法	3.4
マルウェア解析	3.0
デジタルフォレンジック	2.5
情報セキュリティマネジメント	3.6
BCM (事業継続マネジメント)	3.4
リスクマネジメント	4.0
事業・戦略	3.5
経営・組織・マネジメント	2.9
ビジネス基礎	3.1
法/制度・標準・監査	3.9
マネージメント/リーダーシップ スキル	3.4

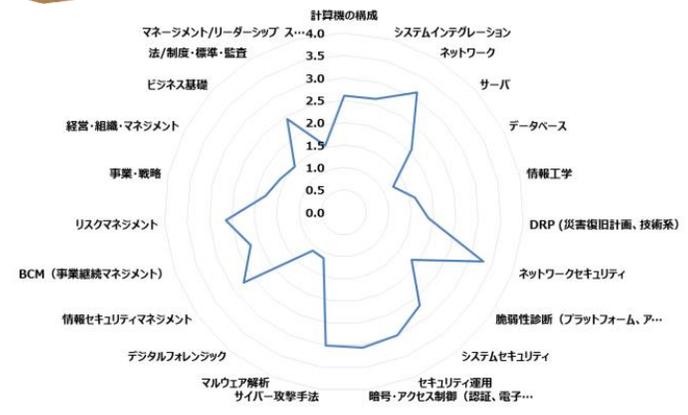


AさんはJTAGでは
 の役割りに対してのマッチング度は75%。
 の役割りに対してのマッチング度は95%。



Bさん

計算機の構成	2.6
システムインテグレーション	2.6
ネットワーク	3.1
サーバ	2.1
データベース	1.2
情報工学	1.6
DRP (災害復旧計画、技術系)	1.9
ネットワークセキュリティ	3.3
脆弱性診断 (プラットフォーム、アプリ等共通)	1.9
システムセキュリティ	2.7
セキュリティ運用	3.0
暗号・アクセス制御 (認証、電子署名等)	3.1
サイバー攻撃手法	3.0
マルウェア解析	1.1
デジタルフォレンジック	1.1
情報セキュリティマネジメント	2.7
BCM (事業継続マネジメント)	2.2
リスクマネジメント	2.6
事業・戦略	1.8
経営・組織・マネジメント	1.6
ビジネス基礎	1.5
法/制度・標準・監査	2.4
マネージメント/リーダーシップ スキル	1.6



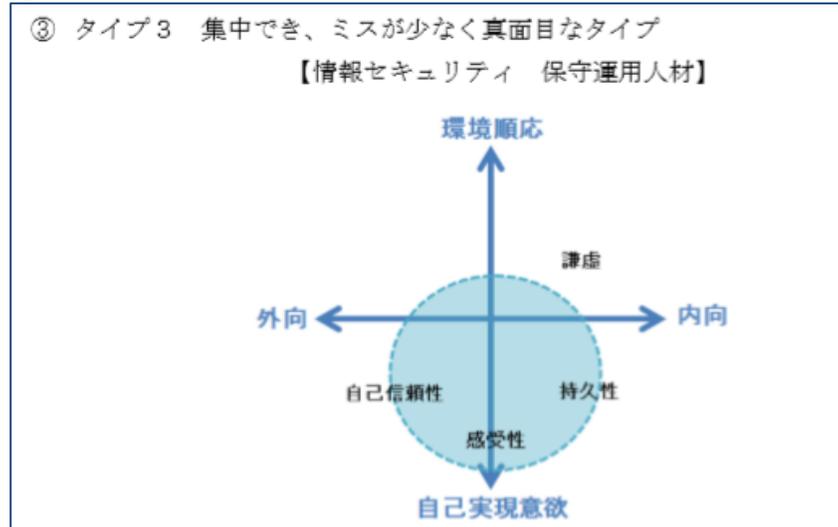
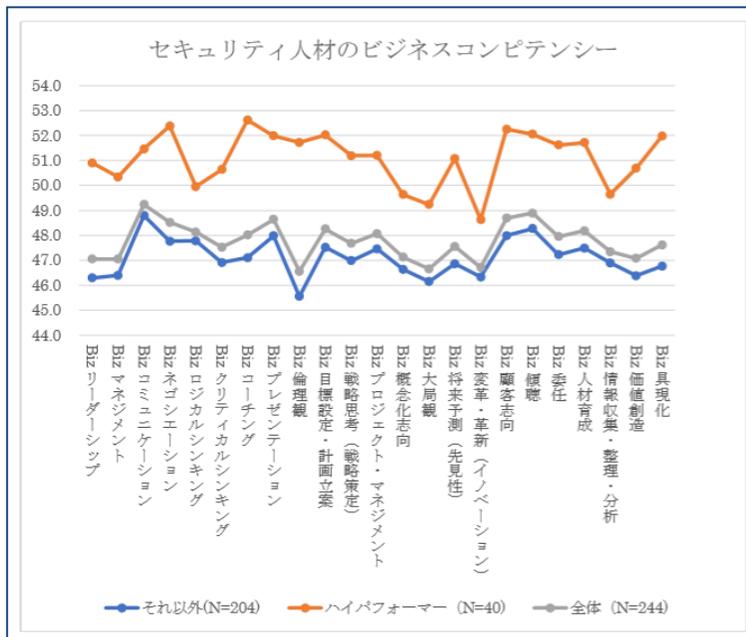
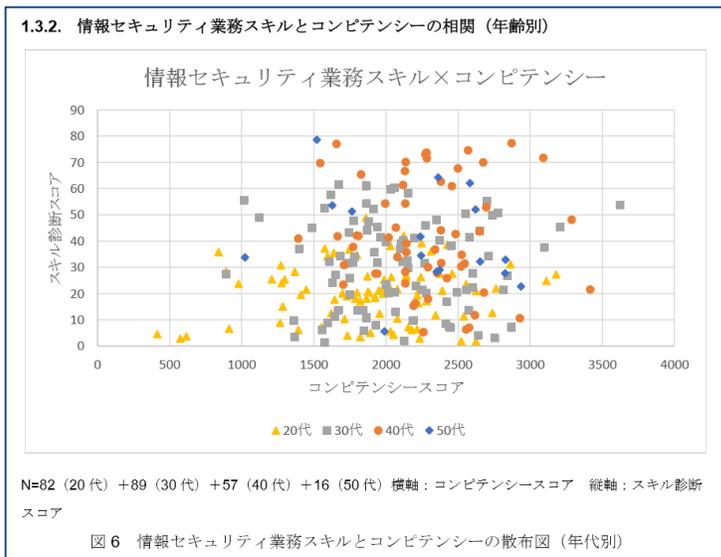
BさんはJTAGでは
 の役割りに対してのマッチング度は80%。
 の役割りに対してのマッチング度は55%。

可視化イメージ



適性資質・行動特性診断 Competency Assessment

分析手法例（確定しているものではありません）



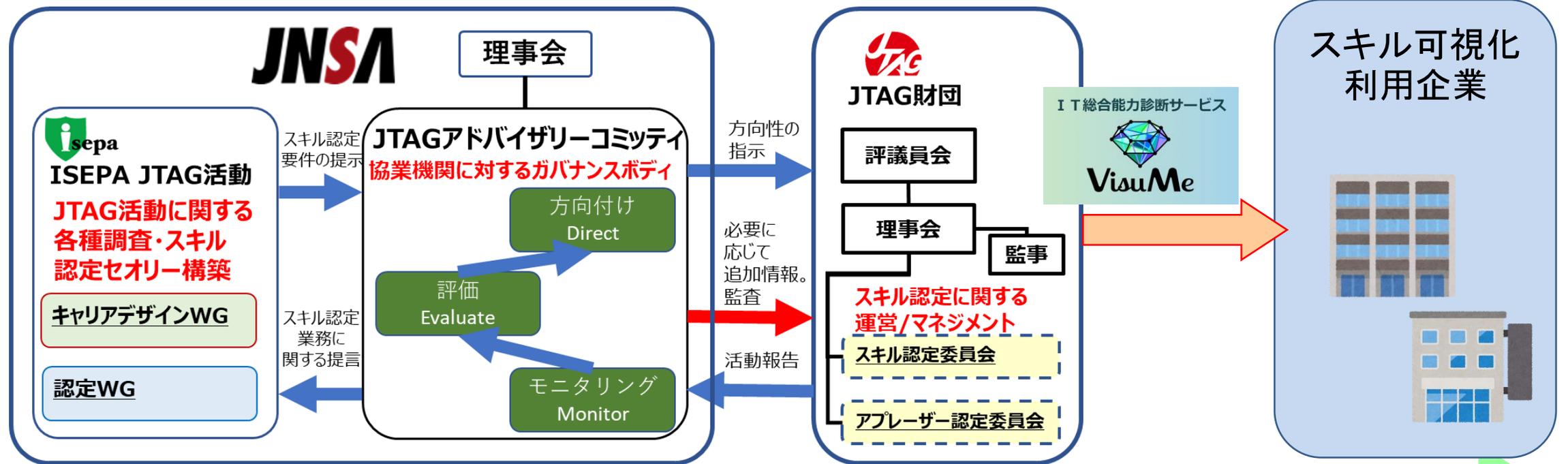
■ 現時点では認定の指標として採用はせずに、あくまで利用者の参考情報としての活用となります。

■ 将来的には、スキル評価との相関分析なども含め、業務による適性など人材像をさらなる精度での見える化を進めていく計画です。

参考：株式会社ネクストエデュケーションリンク

JTAG財団によるスキル診断“VisuMe”の提供

- JTAG活動の役割分担
 - JNSA(ISEPA)：スキル可視化のセオリー検討
 - JTAG財団：スキル可視化サービスとして“VisuMe”を事業展開
- ガバナンス機能
 - JNSA理事会直下に「JTAGアドバイザリーコミッティ」を設置



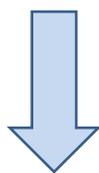
スキル可視化追加指標の検討状況



追加指標の検討

<指標整理の進め方>

- 各カテゴリに対して指標スコアを暫定設定。
- その後、学校に関係する部分を大学等の先生方から意見をもらいブラッシュアップ。
- 続いて、イベント等に関する部分を業界団体などのイベント関係者に相談し、指標の精度向上を図る。



指標が確定次第
「VisuMe」
に反映



JTAG財団:スキル可視化「VisuMe」

指標カテゴリ（スキル診断スコアの細分化）

大項目 (第一階層)	中項目 (第二階層)	小項目 (第三階層)
講義受講や研究室所属等	<ul style="list-style-type: none"> • 大学院（社会人対象も含む） • 大学 • 高専 • 専門学校 	<ul style="list-style-type: none"> • セキュリティ系 • IT、情報系 • 工学系（分野で複数カテゴリズ） • 学校横断的な講義 • その他VisuMeスキルに関連あれば抽出
論文発表	<ul style="list-style-type: none"> • 原著論文 • 学卒論文 • その他論文 	<ul style="list-style-type: none"> • セキュリティ系 • IT、情報系 • 工学系（分野で複数カテゴリズ） • その他VisuMeスキルに関連あれば抽出
イベント（コンテスト等）	<ul style="list-style-type: none"> • CTF系、インシデント対応訓練系、セキュリティキャンプなどのイベント • オープン開催、学校や企業独自開催などで区別 	主催側スタッフ参加や一般参加、入賞などで区別
インターンシップ	IT企業、セキュリティ企業	延べ期間で2～3種で区別
学内活動	<ul style="list-style-type: none"> • 学内/研究室等のネットワークやシステム等運用や管理など、業務に近い形の活動を吸い上げるカテゴリを設ける 	延べ期間1年以上
国や関連機関の研修	デジタル庁情報システム統一研修や厚労省提供の研修など個別に抽出	
教育事業者研修	民間の教育事業者が提供している研修を抽出	

組織やチーム、プロジェクト編制などへの活用



組織版サンプルプロファイルの検討（2024年度継続検討事項）

<例> わが社ではセキュリティ緊急対応 チームを編成 する予定。

既存のシステム部門からの 予定メンバー4人 で期待する業務遂行ができるか……？

登録番号 (自動割当)	登録種別 (個人 or 組織・団体の)	氏名	メールアドレス (登録は任意)	年齢	現就職先 希望地区 (県単位)	所属組織名	業務経験 年数(年 数ではなく、登録時 に業務経験 を記入した 年数)	JTAG総合点		適合率% & 比較リーダーチャート (別表示)																コンピテンシー		人		
								総合点	リーダーチャート	CISO	IT部長	セキュリティ マネージャ	アップケー ション・マネ ジャー	CSIRTイン シデントハン ドラー	サイバー攻 撃調査・分 析担当 (フォレン ジック)	リスクマネジ メント・内 部統制	重要項目 のみ	すべての項 目	作文	インデュー ション										
1017		日野峰雄	mineo319	51	大阪	山田商会	28	68	68	61	41	64	53	88	79	85	73	77	81	79	53	71		別紙	別紙	○	○			
1018		栗林三	eizou492	31	東京	山田商会	8	94	47	63	78	54	69	68	80	58	50	55	79	79	50	48		別紙	別紙	○	○			
1019	●	相原友和	tomokazu	48	東京	山田商会	25	72	69	76	81	98	83	65	60	73	54	55	59	68	55	72		別紙	別紙	○	○			
1020		藤田謙吾	kentarou	44	東京	山田商会	21	85	80	61	50	65	59	77	61	80	50	74	50	57	77	55	○	○	▲	システム	別紙	別紙	○	○
1021	●	菅野佳徳	Kaho_Azu	30	東京	山田商会	7	66	55	56	44	58	71	62	69	83	60	72	81	81	86	78		別紙	別紙	○	○			
1022		進藤秀幸	Hideyuki	51	福岡	山田商会	28	43	55	66	86	91	65	42	65	81	50	69	50	56	74	69		別紙	別紙	○	○			
1023		島 雄	takeshi56	41	福岡	山田商会	18	75	55	66	66	68	54	45	80	62	87	88	55	76	76	41		別紙	別紙	○	○			
1024		黒川彰	Akira_ku	27	徳島	山田商会	4	86	66	66	67	66	66	66	70	70	70	77	88	72	72	68	○	○	▲	システム	別紙	別紙	○	○
1025	●	高木和裕	kazuhiros	32	岡山	山田商会	9	64	83	55	46	70	64	51	85	56	74	75	69	72	68	41		別紙	別紙	○	○			
1026		濱田美奈	minae554	46	岩手	山田商会	23	81	53	60	78	82	79	85	57	58	66	77	43	47	73	77		別紙	別紙	○	○			
1027		石村隆文	takafumi	37	東京	山田商会	14	60	86	105	41	58	73	43	64	69	89	61	55	58	72	74		別紙	別紙	○	○			
1027		三宅隆三	ryuuzou3	52	東京	山田商会	29	52	82	51	73	70	55	76	72	83	69	82	73	41	83	61		別紙	別紙	○	○			
1027		迫田清次郎	seijiro95	29	京都	山田商会	6	59	45	48	53	53	59	62	87	88	52	62	72	77	53	59		別紙	別紙	○	○			
1027		黒沢正樹	kurosawa	49	長崎	山田商会	26	79	72	77	74	76	79	82	65	68	78	75	47	51	78	79		別紙	別紙	○	○			

(表はイメージです)

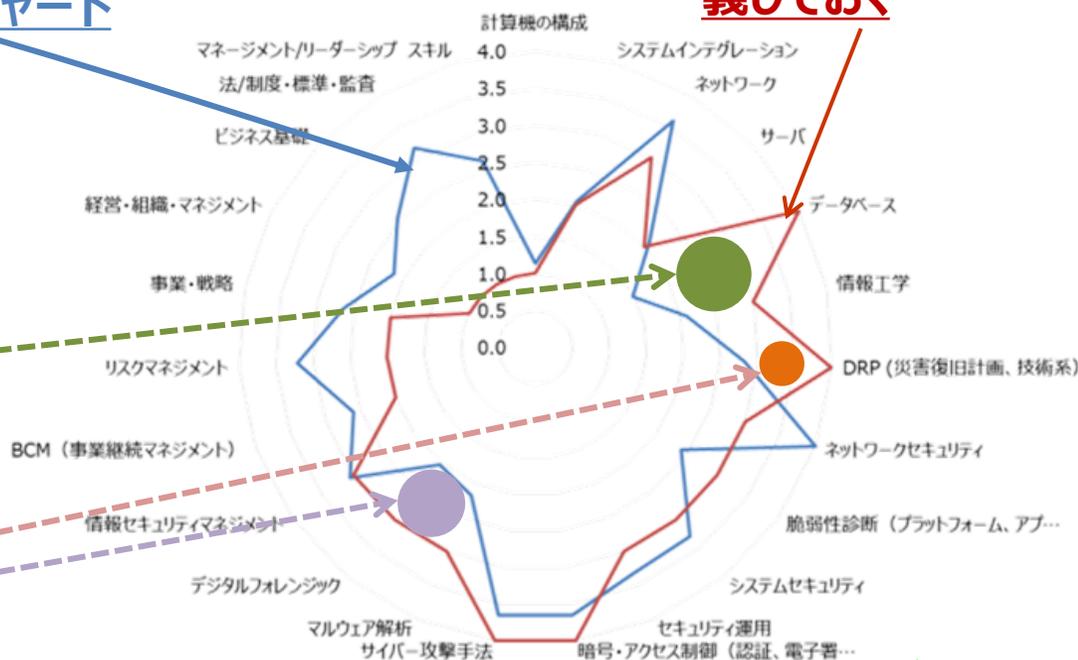


◎ × △ 部門のAさんに支援依頼しよう！

◆ ◆ ● ○ 会社に業務委託で人材支援を依頼しよう！

4人合わせた
チャート

— 選択メンバー合計



業務を遂行するための
チーム機能として
のスキルレベルを定
義しておく

JNSA/JTAG財団共催 座談会セミナー



第一回 学生が考えるセキュリティ人材のキャリアとは？
～学生アンケートから読み解くセキュリティの仕事、業界、キャリアの未来～



<https://youtu.be/C3sgD380Xmk>

第二回 学生が考えるセキュリティ人材のキャリアとは？
～学校側が期待していること、企業側が求めていること、そのギャップは？～



<https://youtu.be/BNQZcyeG6-w>

JNSA 特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会
NPO Japan Network Security Association

JTAG 一般財団法人 日本サイバーセキュリティ人材キャリア支援協会

特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)
一般財団法人日本サイバーセキュリティ人材キャリア支援協会 (JTAG財団)

座談会セミナー

◆学生が考えるセキュリティ人材のキャリアとは？◆
～学生アンケートから読み解くセキュリティの仕事、業界、キャリアの未来～

<登壇者>

- ・**玉川 博之** (AKKODiSコンサルティング株式会社)
JNSA ISEPA JTAGキャリアデザインWGリーダー、JTAG財団企画運営委員長
- ・**松木 努** (人材紹介会社セキュリティ領域担当)
JNSA ISEPA JTAGキャリアデザインWG、JTAG財団企画運営委員
- ・**滋野 謙太郎** (学校法人岩崎学園)
JNSA ISEPA JTAGキャリアデザインWG、JNSAサイバーセキュリティ産学連携推進協議会

※本セミナーは座談会形式の良さを活かすために、あくまで登壇者個人の経験や見識に基づく議論となりますのでご理解ください。

JNSA 特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会
NPO Japan Network Security Association

JTAG 一般財団法人 日本サイバーセキュリティ人材キャリア支援協会

特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)
一般財団法人日本サイバーセキュリティ人材キャリア支援協会 (JTAG財団)

座談会セミナー (第二回)

◆学生が考えるセキュリティ人材のキャリアとは？◆
～学校側が期待していること、企業側が求めていること、そのギャップは？～

<登壇者>

- ・【モデレータ】 **滋野 謙太郎様** 学校法人岩崎学園
- ・**大西 淳子様**
株式会社ラック (人事部 人事サービス室/人材育成・採用G/グループリーダー)
- ・**菅野美幸様**
パーソルプロセス&テクノロジー株式会社 (コーポレートヘッドクォーター/人事統括部/人材採用部/部長)
- ・**宮坂孝様**
NTTデータ先端技術株式会社 (サイバーセキュリティ事業本部/事業推進部/事業企画担当/担当課長)

JTAG財団公式YouTubeチャンネル
<https://www.youtube.com/@jtagyoutube4965>



JNSA/JTAG財団共催 座談会セミナー



JNSA 特定非営利活動法人
日本ネットワークセキュリティ協会
NPO Japan Network Security Association

JTAG 一般財団法人
日本サイバーセキュリティ人材キャリア支援協会

JTAG座談会セミナーシリーズ（第七回）

学生アンケートから読み解くセキュリティの仕事、業界、キャリアの未来 ～JNSA JTAGキャリアデザインWG第二回アンケート振り返り～

【登壇者】

玉川 博之（AKKODiSコンサルティング株式会社）

JNSA ISEPA JTAGキャリアデザインWGリーダー、JTAG財団企画運営委員長

滋野 謙太郎（学校法人岩崎学園）

JNSA ISEPA JTAGキャリアデザインWG、JNSAサイバーセキュリティ産学連携推進協議会

渡邊 和樹（AKKODiSコンサルティング株式会社）

JNSA ISEPA JTAGキャリアデザインWG、JTAG財団企画運営委員

※本セミナーは座談会形式の良さを活かすために、あくまで登壇者個人の経験や見識に基づく議論となりますのでご理解ください。

- 配信期間：2024年8月7日（水）～2024年9月6日（金）
- 開催方法：「事前申込」によるオンラインアーカイブ配信形式

※事前申込視聴に限り受講証を発行します。

（事前申込視聴期間終了後、JTAG財団公式YouTubeチャンネルにて一般公開予定）

※視聴用のURLは、視聴開始日前にメールにてご案内いたします。

情報セキュリティ教育事業者連絡会（ ISEPA ）

メールアドレス： sec@jnsa.org

WGメンバー募集中
月1回程度 オンラインを中心に活動中

